

那覇教育時報

第3号 2022年7月5日 発行：沖縄県教職員組合那覇支部 〒902-0066 那覇市大道172-6 沖縄県教育会館2階 ☎098(943)1395 FAX098(943)1399



食事しながらおしゃべりしましょう

ランチミーティング

夏休み期間中、沖教組那覇支部は「ランチミーティング」にとりくみます。弁当や飲み物を囲んで、みんなでざっばらんに様々な話をしませんか。職場の環境や、抱えている悩みなど、ためになる情報交換をしましょう。時間と人数をお知らせの上お申し込みください。各分会(学校)に申し込み用紙をFAXします。弁当等を購入して、学校で行う場合は、648円(8%税込み)を沖教組が負担します。



主な予定

◎7月21日～7月29日
ランチミーティング旬間

◎8月7日～9日
平和の旅inかながわ
※別紙募集要項参照

沖教組那覇支部



沖教組那覇支部のホームページもご覧ください。今後、ホームページでの情報発信にも力を入れていきます。

サイトアドレス

<https://otunaha.org/>

検索窓に「沖教組那覇支部」と入力して検索しても表示できます。



7/2教育研究集会全体会
宮沢和史講演会
感動につつまれ終了

問題解決のスタートは「教育」

沖教組那覇支部の第69次教育研究集会全体会の催しとしての「宮沢和史講演会」が那覇市文化芸術劇場「なはーと」小劇場で開催されました。

宮沢和史は、冒頭に講演会を引き受けた理由を「問題解決のスタートは教育」だからと語り、「子どもは白紙。どうして大人になって差別の心が生まれたり、敵対心が生まれたり、嫉妬が生まれたりするのかな。それは誰かが植え付けたものなのかもしれないですね。『周りの人がそう言っているから自分もそうなってくる』ということもあります。周りの大人の声をこどもは聞いて育ちますよね。だから、遠回りかもしれないけど、教育はすべての問題解決のスタートだと思います。その思いで駆け付けてまいりました」と話しました。

沖縄の復帰50周年を迎え、「みー世」を迎える沖縄、『島唄』も発表されて30年になります。宮沢さんは、この唄の本当の意味を皆さんに知って

もらいたい、「とにかく永く歌おう」と決意し、「懐メロを再現するのではなく、いつも新しい唄として歌っている」と話しました。

宮沢さんは、男女の出会いと別れを描いたラブソングとしての歌詞を朗読しました。

東京で沖縄の音楽と出会い、「どうして沖縄は悲しいことがあったのに、こんなに美しい唄があるんだろう」「先祖や人とのつながりがあるんだろう」と考え沖縄を訪れ、沖縄の街の中にも戦争の傷跡が残っていることや、不発弾処理などの状況を見て、「戦争が終わっていない」という現実を知りました。自然とチビチリガマやひめゆり資料館に足が向き、沖縄のことを知り、「島唄」を作曲。ラブソングの歌詞の裏にその思いを重ねました。

参加した人々からは大きな感動の感想が寄せられました。ぎっしりと書かれた感想用紙が62通も返ってきました。

※裏面に感想を紹介

教職員組合の教育研究集会とは

沖教組那覇支部は、「すべての子どもに生きる力と学ぶ喜びを！」という研究テーマのもと、これまで多くの教育活動に取り組んできました。教育が独立性を失うと国全体のすすむ方向が間違ってしまうことは、これまでの歴史が証明しています。戦後76年、かつて教え子たちを戦場へと追

いやってしまった責任の一端を、私達教職員は今も負い続けなくてはなりません。決して忘れてはならない深い悔恨と反省から、「教え子を再び戦場に送らない！」という崇高なテーマが生まれました。日本国憲法・子どもの権利条約の理念にもとづき、すべての子どもに生きる力と学ぶ喜びを育む教育をともにつくる。そのための教育研究集会です。



知っておきたい 教職員の権利

休憩時間

休憩時間とは、「勤務時間の途中に与えなければならない」時間です。

そして、労働者（教職員）に「自由に利用させなければならない」時間です。

校長は所属校の職員に対し、1日の勤務時間から時間を超える場合には45分、8時間を超える場合には1時間の休憩時間を、勤務時間の途中に保障しなければならないとします。

労働者が「自由に利用できる」ということは「仕事から離れることができる」ということなので、仕事のために待機する時間や準備時間は休憩時間に含まれません。休憩時間に職場を離れることも可能です。

労基法は、労組との協定がない限り、「休憩時間はいっせいに与えなければならない」としており、学校職場でも毎年度の初めに、1日の勤務時間のどこに休憩を置くのか、全教職員で確認することになっています。



だいでむい 大道盛(ハーフムーンヒル)

真嘉比小学校の裏手にある真嘉比南公園には沖縄戦の激戦地であった大道森を記録する碑があります。沖縄戦で大道森は、半月の形に見えたことから米軍からハーフムーンヒルと呼ばれました。日本軍が陣地を築き、ここを攻略しなければ米軍は首里に進むことができませんでした。

新都心地域にあるマカビチージ(シュガーロード)と大道森(ハーフムーンヒル)は、沖縄式墓の中に掘られた壕同志を連結され、トンネルでつながっていました。二つの丘の背後にあるホースシューという斜面に置かれた迫撃砲部隊と連携した戦いで日本軍は米軍の進行を阻み、米軍にも2662名の戦死者と1289名の戦闘疲労者を出したとされます。

一方的に米軍に蹂躪されたと思われがちの沖縄戦ですが、『戦争』は共に死者を出すものです。今、ウクライナ情勢を理由に国防の強化の声が国会で大きくなっていますが、「守る」ということの意味を沖縄戦を振り返って考える必要があります。

碑には、当時の弾痕を受けた壁が切り取られ組み込まれています。また、出土した兵士の遺品等も展示されています。

宮沢和史
講演会
感想文抜粋

ぎっしりと感想62通

教諭 50代 女性
宮沢さん流の未来平和プロジェクトへの誘いメッセージが心に響きました。争いのない世の中を築くため、今後も教壇実践に注力しようと思えました。今日久しぶりに平和祈念資料館へ足を運ぼうと思います。宮沢和史さん・・・島唄も最高！！思った通りの優しい人柄は、生き方が反映していると感じました。

会社員 女性
非常に心にひびく話だった。第2・第3部もじっくり聞きたい。また、こういう機会を設けて頂けると嬉しいです。今日はありがとうございました。

教諭 50代 女性
クルチの活動を初めて知りました。50年、100年後の未来について考えながら行動していることに感動しました。ありがとうございます。

公務員 50代 女性
島唄が生で聴けて良かったです。平和の大切さを大事にしないといけないと思いました。ありがとうございました。

教諭 50代 女性
復帰50年、沖縄の声を歌い続けてくれることを願う。島唄のように。繰り返す悲しみ。さつま世になり、アメリカ世になり、その中で沖縄の人たちはいたみを知り、強く優しくもなった。今度は世界の人々が沖縄をうけとってもらいたい。世界中にオキナワがある。世界中のウチナンチュがリンクしている。島唄の魅力、唄はうつわ、それにその国の歴史をのせられること。だから長く愛されるのだろうと感じた。

教諭 50代 男性
宮沢和史さんの沖縄への思い、平和への思い、「島唄」にこめられたメッセージなど、何事にも希望を持って真摯に取り組まれていることに感動しました。機会があれば、子どもたちにもそのメッセージが伝えられたらいいなと思います。今日はありがとうございました。

教諭 40代 女性
平和を願う「島唄」について知ることができ、心打たれました。宮沢さんが沖縄音楽を愛して下さっていること、沖縄の音楽をはじめ、沖縄戦や平和について発信して下さい。平和教育につなげていきたい。

教諭 50代 女性
「島唄」にこめられた想いや、沖縄の人以上に、沖縄の戦争にかかわることや芸能・文化を探求する姿勢から、私たちももっと学ばなければならないと感じました。今日は大好きな宮沢さんのお話を聞くことができてよかったです。

50代 女性 高教組
島唄に込められた思い、そして沖縄に対する思い、平和を願う心、ガンガン伝わってきました。そして、島唄と共に沖縄の事が世界中に知られ続けている事が誇らしく思いました。同時に沖縄の未来についても考える責任もあると強く感じました。

60代 女性
宮沢さんの第一声「一番大事なのが教育」に私たちの役割の重責を再確認させられました。沖縄に住む私たちは、宮沢さんのエールを受け、うちなーの文化・心・平和を大切に守っていきます。

教諭 40代 男性
小学校の教員として平和教育の難しさを日々感じています。「島唄」を一つの題材として、子どもたちに気付いてもらい、アプローチするのもすくいいなと思いました。

退職教諭 60代 女性
島唄にこんなに深い意味と、宮沢さんの沖縄に対する思いがあったとは初めて知りました。「世界でも南米でも世界中に沖縄がある」の言葉が印象的でした。沖縄が元気だと世界のウチナンチュも元気。歌い続けるって素晴らしいですね。

小学生 女性
最初のオープニングの、さんしんと太鼓も上手だったので、すごかったです。県外の人も沖縄戦を知らない聞いて、とてもびっくりした。島唄を生で聞いて、強弱や迫力がすごかった。

60代 女性
島唄→涙そうそうでした。教育が原点・スタートとあらためて確認できました。50年・100年後へのビジョンをもって・・・元気をたくさんいただきました。ありがとうございました。

30代 男性
「沖縄は『沖縄』だけにあるわけじゃない。全世界にリンクしている」って言葉が沖縄県民という事が誇れるような気がした。50年後、100年後の沖縄について、これから考えていきたいと思った。

会社員 40代 女性
島唄のダブルミーニングについて知り、それを理解(分かって)して改めて聴くと涙が自然と流れました。

50代 女性
宮沢さんの沖縄愛を改めてたくさん聞けてすばらしいのひと言です。歌を通して平和を伝えて行ってくれている。なかなかできない事・・・宮沢さんの伝えたい事をどれだけ私達も伝えられるか。沖縄愛本当にありがとう。ますますファンになりました。

60代 女性 一般
戦争の話、もっと日本国民が真剣に今一度考えてほしいと思います。沖縄が置かれている現状を皆で考えたいと思いました。

会社員 30代 女性
今が戦前にならないように平和を伝えて行きたい。

派遣社員 60代
島唄の意味はしっかり調べたり

聞いたりした事はなかったのですが、いつも自分で歌っていて「こんな意味だろうなー」と思っていた事が今日の話聞いて「やっぱりそうだ！」と思いました。沖縄を愛する宮沢さんを応援し、私も島唄を歌い続けたいです。

会社員 20代 男性
とても素晴らしい会でした。県内の高校～大学生などに向けてやって頂きたい内容だなと思いました。

教諭 50代 女性
宮沢さんも大好きです。民謡を集めてくれてありがとうございます。私も何かできること地元で育ち、戦争を生きのびた両親から生まれた娘として、沖縄のためにできることやりたいなあ。

教諭 40代 女性
「教育はすべての問題の解決のスタート」心に響きました。えりを正してがんばりたいと思います。私は科学と音楽で平和を紡ぎたいと思いました。「ビジョンを創る。そして話をする」それを子どもたちと取り組んでいきたいと思えます。

教諭 40代 女性
宮沢さんのお話を聞く機会を作ってくださいありがとうございます。すごく、すごく良かったです。今日学んだことを忘れず、子ども達と共にこれから頑張ります。ありがとうございました！！

会社員 50代 女性
島唄の制作秘話が聞けてよかったです。理由は、「島唄」がヒットした頃に県外に住んでいて、「軽々しくナイチャーが唄うな！」と思っていました。でも、ある時、聞いていたら涙がスーッと流れてきて、はっとしたのです。改めて、できることで沖縄のこと未来の沖縄につながることを伝えていけたらと思いました。

60代 女性
「沖縄には借りがある。沖縄には恩がある」、山梨の基地が反対運動の結果、沖縄に移設されたことを知り、その意味を知りました。宮沢さんの平和への思いを新たに知り、宮沢さんの歌とお人柄が好きになりました。クルチの植樹運動なども併せて宮沢さんを支援していきます。

教諭 20代 女性
宮沢さんが、こんなにも沖縄を思っている事に嬉しい気持ちになりました。沖縄に住む者として、もっともっと沖縄の事を知り、子どもたちにも伝えていきたいと思いました。お話を聞いて良かったです。

福祉関係 女性
子どもたちが直接お話がきける場を設けてもらえたらいいなあと思いました。くるちの杜の活動も子どもたちがもっと知って参加してもらえたらうれしいです。